

内部計画

- エントランスホールからつながる桜紫モールの吹抜けは、日常の活動が一望できるダイナミックな空間としています。
- 自然採光・自然換気を行うことにより明るく快適な空間としています。



■校舎棟 エントランスホール内観イメージ

- 普通教室は南側に面して配置し、バルコニーからグラウンドを見渡せる計画としています。
- ロッカーを教室内の窓側にまとめて配置し、緑側のような空間としています。



■校舎棟 普通教室内観イメージ

- 吹抜けに面するラウンジは、自習スペースやコミュニケーションの場としての活用ができます。
- 教室の廊下側にはベンチを配置して、コミュニケーションの活性化を促します。



■校舎棟 ラウンジ内観イメージ

- 桜紫モール内に階段状の空間「プレゼンテーションステップ」を計画し、日常動線の中心として活用することができます。
- 壁面には作品等が展示できる計画としています。



■校舎棟 プレゼンテーションステップ内観イメージ



■南側外観イメージ



■体育館棟 北西側外観イメージ

■計画概要

- 所在地 : 高松市桜町二丁目 5 番 10 号
- 敷地面積 : 約 33,000㎡
- 延床面積 : 約 19,500㎡
- 階数 : 地上 5 階 (校舎棟)、地上 3 階 (体育館棟)
- 建物高さ : 約 25 m (校舎棟)、約 20 m (体育館棟)
- 主体構造 : 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
- 建築アドバイザー : 京都大学大学院工学研究科教授 門内 輝行
- 設計者 : 株式会社 日本設計

■事業スケジュール (予定)

平成 27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度
基本設計	実施設計／発注準備							
				仮設校舎建設	新校舎棟・新体育館棟建設			

※掲載された内容については、今後変更となる場合があります。

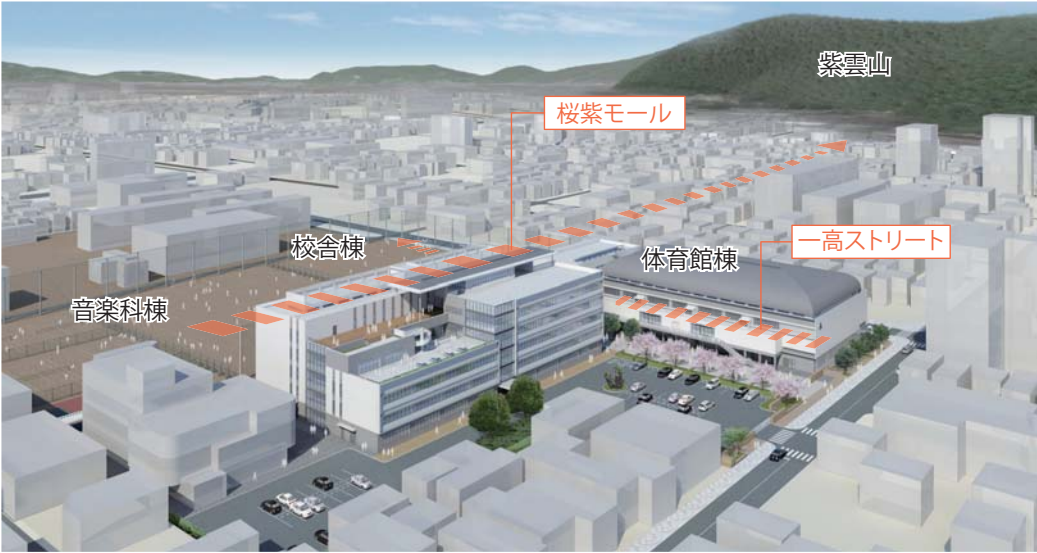


高松第一高等学校改築
設計概要

高松市

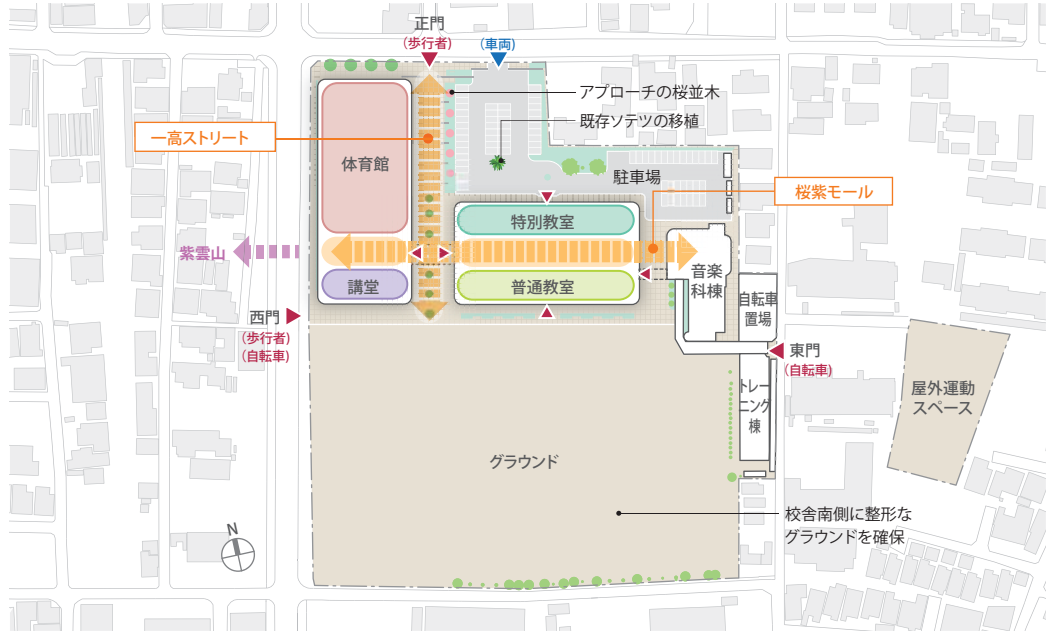
設計コンセプト

県内唯一の市立高校にふさわしい、高松市の教育のシンボルとなるような特色ある施設を「桜紫モール」と「一高ストリート」で実現します。



■ 桜紫モール ■ 北東側 鳥瞰イメージ

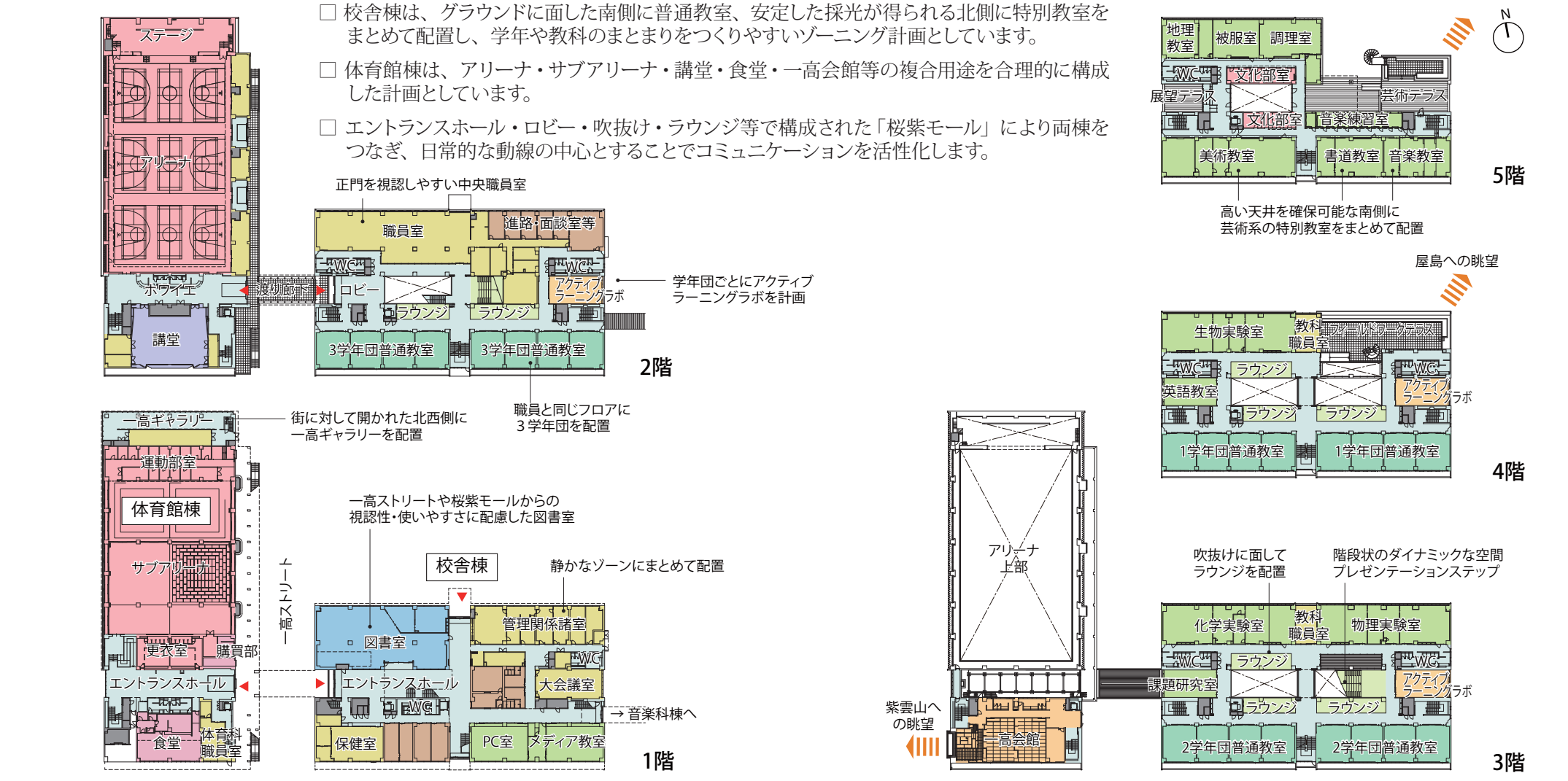
- 紫雲山を望む軸線上に、新設の校舎棟・体育館棟と既存の音楽科棟とをつなぐ施設軸を計画し、「桜紫モール」と名付けています。
- 桜紫モールは学校全体を一体的につなぐダイナミックなアトリウム空間とし、特色ある2つの科と5つのコースを一望できる空間を構成しています。
- 桜紫モールを介して活動が見えることで生徒の探究心を高めて相互刺激を生み、生徒間や生徒と教師間の日常的なコミュニケーションを活性化します。



■ 一高ストリート ■ 配置計画図

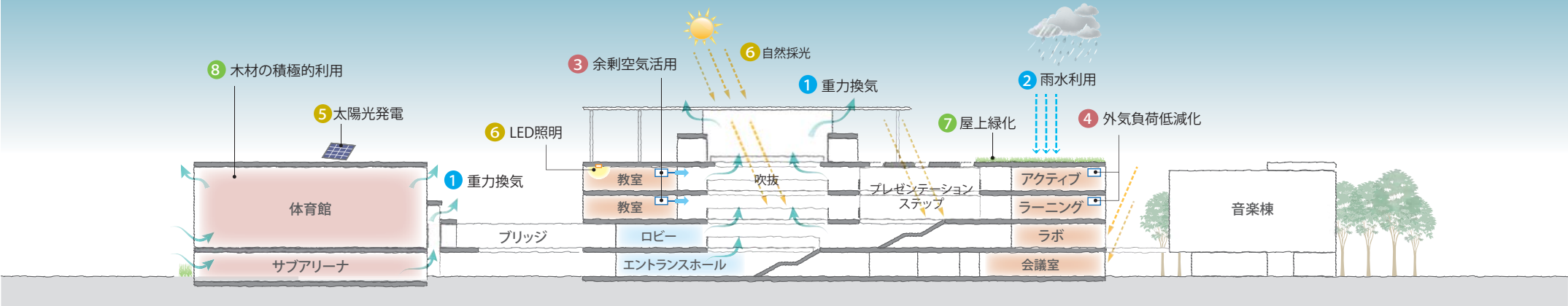
- 正門からの既存アプローチ軸を継承し、南北方向に伸びる街路状の空間を「一高ストリート」として計画しています。
- 一高ストリートにはサクラ並木を配置してアプローチ動線を明快にしています。また既存のソテツを現状に近い位置に移植することで既存の風景を継承しています。
- 春には、校歌にある「紫雲山麓花爛漫」の風景を創出し、卒業生や新入生の心に刻まれる印象的な空間となることを意図しています。

平面計画



環境計画

高松の気候風土を活かした「学び」と「省エネ」を実現する環境技術を導入し、省エネ技術を身近に触れることで、見て感じる・考えて実践することができるアクティブラーニングの教材となることを目指しています。その手法として、「あお」、「あか」、「きいろ」、「みどり」のエコに大別したシンプルで分かりやすい環境計画としています。



あおのエコ	風・水	あかのエコ	熱・温度	きいろのエコ	光	みどりのエコ	樹・植物
1 吹抜による重力換気・自然換気	・吹抜部分の上下温度差と開閉窓を利用したソーラーチムニーで自然換気を促します。	3 共用部への余剰空気活用	・教室からの排気を余剰空気として非空調の廊下側へ供給し、有効活用します。	5 太陽光発電パネル	・太陽光発電パネルを設置しエネルギーを創り出します。	7 屋上緑化	・テラスは緑に溢れる空間とします。
2 雨水利用	・雨水貯水タンクを屋上テラスに設置し、屋上緑化の灌水として利用します。	4 外気負荷の低減化	・全熱交換器による排熱回収や、CO2濃度による風量制御によって外気負荷の低減を図ります。	6 自然採光・照明エネルギーの節減	・吹抜部分や光庭から自然採光を取り入れます。 ・LED照明を採用します。 ・照度センサーや人感センサーを用いた照明制御により無駄な点灯を回避します。	8 木材の積極的な利用	・内装の木質化を進め、自然を感じる意匠とします。